「八雲養護学校　小学部　のグランドデザイン」

「学校教育目標」

自らの可能性を生かし、心豊かに生きる人を育てる

今年度の重点目標：今と将来を豊かに生活し、社会に参加する力を確実に育てる。

「小学部　教育目標」

進んで自分の力を発揮し、学ぶことができる児童を育てる。

豊かな人間性

○いろいろなことにチャレンジする、前向きな気持ちや考え方。
○自分のよさがわかる、相手のよさを認める力。

健康・体力

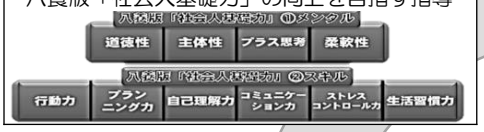
○健康管理
・自分の健康と身体に関心をもつ。
・身体を動かすことを楽しむ気持ち。

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

・八養版「社会人基礎力」の向上を目指す指導



何が身に付いたか

○学校評価を通じた学習指導の改善

〈教師〉
・指導内容(教科のつながり含む)やペース配分
〈児童〉
・気持ちの応用力　・柔軟性
・自己管理能力　・計画性

子供の実態

・経験不足
・環境の変化への弱さ
・人とのかかわりを楽しむことができる。
・いろいろなことに積極的に楽しめる。

子供の発達をどのように支援するか

障がいの状態に応じた子供への支援

・学習中の表情・披露などの観察
・支援機器の活用
・学習環境の整備

目指す子供の姿

・「志」を身につけた人

八雲養護学校の「志」
「すきをみつける」
「なんでもたのしめる」
「みんなとつながる」
「じぶんをしんじる」
「からだをおもいやる」

何を学ぶか

○教育課程の編成

・あいさつ・きまり・やくそくなどの指導を通してコミュニケーション能力を育てる。
・身だしなみ、整理整頓について、自分で気づける、相手に伝える。

どのように学ぶか

○教育課程の実施

・支援機器やICTの活用
・振り返りの時間をもつ(全教科統一した学習のつながり)
・PDCAサイクル

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

・１対１対の教員の専門性
・学校生活、病棟生活の充実のための話し合い。
・アセスメントをもとに、将来に必要な力についての具体的なイメージをもつ。
・学部間のつながり、合同授業

安全・安心を守る

・専門性向上のための研修
・環境の整備

開かれた学校づくり

・病棟、保護者との連携、情報共有
・校外学習、就労体験等での地域とのつながり

参考：©髙木展郎　2017学校のグランドデザイン・縦版

「八雲養護学校　中学部　のグランドデザイン」

「学校教育目標」

自らの可能性を生かし、心豊かに生きる人を育てる

今年度の重点目標：今と将来を豊かに生活し、社会に参加する力を確実に育てる。

「中学部　教育目標」

個性やよさを認め合い、人との関わりを広げ、豊かで充実した生活を送る力を高められる生徒を育てる。

豊かな人間性

- 「好き」をみつける、広げる
- 気持ちを伝える
- 相手を思いやる、共感する

健康・体力

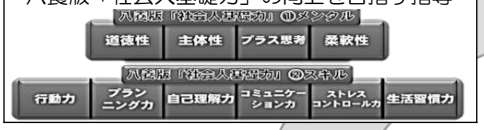
体や命を大事にする行動が取れる生徒
- 変化に気付く
- 気持ちを伝える
- 受け入れる（変化、相手、自分）

資質・能力の育成

何ができるようになるか

〇学校教育の基本

- 八養版「社会人基礎力」の向上を目指す指導



何が身に付いたか

〇学校評価を通じた学習指導の改善

- 表現力　・聞く力　・視野の広がり
- 気付く力　・楽しむ力　・探求力
- ポジティブシンキング
- 応用・汎化するなど実生活で生かせているか

子供の実態

（筋ジス3名）・視野がせまい
・発展・応用が苦手
（重　複2名）・自分からの発信の芽生え
・人との関わりを好む

子供の発達をどのように支援するか

障がいの状態に応じた子供への支援

- 授業のUD化
- 環境作り
- 体の動き

目指す子供の姿

- 「志」を身につけた人

八雲養護学校の「志」
「すきをみつける」
「なんでもたのしめる」
「みんなとつながる」
「じぶんをしんじる」
「からだをおもいやる」

何を学ぶか

〇教育課程の編成

（準ずる・知的）知識、学ぶよろこび、余暇、生活に生かす力、他者との関わり
（　重　複　）学ぶよろこび、他者との関わり

どのように学ぶか

〇教育課程の実施

- 人との関わり（役割、対話など）
- 体験学習（主体性）
- ICTの活用

実施するために何が必要か

〇指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 連携（教職員、病院、家庭、地域）→生徒理解へつなげる
- 専門性などの幅広い知識

安全・安心を守る

- 学習環境の整備
- 安心して学習できる雰囲気作り
- 健康管理、体調観察

開かれた学校づくり

- 外部との繋がり
（地域資源の活用、遠隔交流、情報発信）

「八雲養護学校　高等部　のグランドデザイン」

「学校教育目標」

自らの可能性を生かし、心豊かに生きる人を育てる

今年度の重点目標：今と将来を豊かに生活し、社会に参加する力を確実に育てる。

「高等部　教育目標」

自分のもつ力や個性を発揮し、生き生きと充実した生活ができる生徒を育てる。

豊かな人間性

- 多様な社会参加に向けて、主体的に行動する。
- 人間関係を充実させる。

健康・体力

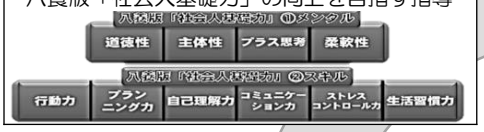
- 自己理解を深め、心身の健康に関する知識を身に付ける。
- 卒業後の生活に向けて、自己管理能力を高める。

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- 八養版「社会人基礎力」の向上を目指す指導



何が身に付いたか

○学校評価を通じた学習指導の改善

＜教師＞
- ＰＤＣＡ

＜生徒＞
- 場に応じたコミュニケーション
- 知識・技能

子供の実態

- 実体験の不足
- コミュニケーション能力が低い
- 仲間意識の強さ
- 素直

子供の発達をどのように支援するか

障がいの状態に応じた子供への支援

- 学習環境の整備
- 授業力を高める
- 適切な実態把握

目指す子供の姿

- 「志」を身につけた人

八雲養護学校の「志」
「すきをみつける」
「なんでもたのしめる」
「みんなとつながる」
「じぶんをしんじる」
「からだをおもいやる」

何を学ぶか

○教育課程の編成

- 準ずる教育課程
- 実態に合わせた教育課程

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- 体験的な活動を通して経験を蓄積し、自己選択・決定する。
- 学習環境を整え、主体的に取り組む。

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 情報の共有と共通理解
- 関係機関との連携・協働

安全・安心を守る

- 災害や非常時を想定した動き
- 医療研修
- 環境衛生
- 生徒の心のケア

開かれた学校づくり

- 情報発信（授業の様子・支援機器）
- 地域資源や人材の活用